

酒生っこ通信

ごあいさつ

この1年間、みなさんのご理解とご協力に支えられ、会の活動計画を実施することができました。役員一同、心から感謝しております。新年度も子どもたちの健やかな成長とみなさんのご要望に沿った取り組みを展開していきたいと思ひます、いっそうのご協力・ご支援をよろしくお祈ひします。

酒生地区子ども会育成会

会長 山内巧

親子フォーラム 開催

生活指導部会



食の面から地球温暖化防止の工夫を考える「親子フォーラム」が1月27日、酒生公民館で開かれ、小学5、6年生16人と保護者15人が参加しました。酒生地区子ども会育成会、酒生公民館、青少年育成市民会議酒生支部が共催して毎年、親子の話し合いの場として企画しているもの。今回は県地球温暖化防止活動推進員の中野佐知子さんを迎えて「フードマイレージ買い物ゲーム」を行いました。親子で相談しながら一定の金額の範囲内で夕食の献立をつくり、食材の買い物先や交通手段を選んで発表します。そのうえで、各食材の輸送に要した二酸化炭素排出量を示すフードマイレージを計算します。「今日の晩飯は何が食べたい」ときくと、「カレー！」と返すなど、にぎやかな親子の会話が聞かれました。

ゲーム後の発表では、「二酸化炭素を減らすには輸入品ではなく、国内ものを買うことだ」「食べ残しをなくしたい」「すべての食材が地産地消で済む国になってほしい」などの意見が出されました。中野さんはフードマイレージでは日本が世界で最悪である実態を紹介し、「なるべく近くでとれた野菜や果物を買きましょう」「『旬』を考えてほしい」とのべました。

生活指導部部長 橘 和哉

救急普及講習

運動部会



福井市東消防署から消防士の唐杉晋一さんを迎えて救急普及講習会を2月24日、酒生公民館で開きました。唐杉さんは、救急救命をめぐる現状にふれ、市内に8台配備されている救急車の昨年の出動件数が、10年前より3000件多い8500件超、1日当たり22件になっていると説明し、軽症の場合の救急車利用は控えてほしいと呼びかけました。そのうえで、救急車の現場到着には平均7分程度かかる一方、心停止の場合、脳細胞は酸素の供給がなくなると個人差はあるが約3分後に死に始めるとして、「心肺蘇生ができると助かる確率が上がる」と強調。胸骨圧迫と人工呼吸にAED(自動体外式除細動器)を加えた心肺蘇生法を実演しました。参加者らは唐杉さんの説明に真剣に耳を傾け、実習で対処法を学びました

運動部部長 細谷 優子

あとがき

本年度の企画文化部の活動も、この「酒生っこ通信」の発行をもって無事終了することとなりました。各部会の活動を皆様にご報告することができましたことは、ご協力いただいた方々のお陰と感謝いたします。一年間どうもありがとうございました。

企画文化部部長 吉村 晃一